

スポーツ MICE 研究部会（第 6 回）

日 時：10 月 8 日（木）15：00～17：00

会 場：イベント学会会議室

出席者

〔研究員〕 清宮浩一、澤崎宏、福井昌平（部会長）、守屋慎一郎、師岡文男

〔オブザーバー〕 梶原貞幸、澤内隆

〔事務室〕 内田なお子、加藤淑子、小林政則（事務室長）

資料：・発表用 PPT 案（清宮研究員）

・シンポジウムの報道発表資料案



おもな議題

・イベント学会研究大会での発表内容の検討 ・事務連絡（シンポジウムの報道資料案について）

おもな内容

■イベント学会研究大会での発表内容の検討（福井部会長）

・研究大会での発表の持ち時間は 1 部会 15 分程度のため、発表の内容はかなり絞られたものになる。
・当部会では、新国立競技場をスポーツ MICE の殿堂になるための必要要件を 5 つ程度のポイントに整理し「スポーツ MICE 五箇条のご誓文」のような形でアピールしたい。

——清宮研究員より資料にて前半部分の発表案（PPT）を説明、後半部分は守屋研究員が検討中であることを報告。

[意見交換]

- ・新国立競技場が、MICE の開催に欠かせない宿泊施設や展示場等を備え、会議ができる複合施設となるべきだと提言したい。オリンピック開催後に、複合施設として改修しやすいスタジアムにしないと意味がない。MICE ではインセンティブとされている部分を「スポーツ MICE」の定義では、スポーツツーリズムにしてはどうか。（師岡）
- ・MICE の最高峰がオリンピックであると位置付けることもできる。（福井）
- ・大きな会議をする際には、宿泊と会議と展示が隣接していることが、セキュリティの面でも必要になる。東京は特にスペースが取れる場所がないので、新国立競技場周辺であれば大規模な国際会議を開ける可能性はある。（師岡）
- ・仮設の技術はスポーツラボの施設にも向いている。全国にも展開しやすい。（守屋）
- ・スポーツ MICE のための仮設技術を、業界をあげて提案するべきだと考える。当部会の研究テーマの一つとしたい。（福井）
- ・イベントプログラム部会と重複する内容は気になるところだが、考え方は同じだと実感した。東京都と外苑周辺の施設や企業が交わっている覚え書きでは、スポーツクラスターと魅力ある複合市街地を目標としている。それと MICE を結びつけて、必要性をアピールすることもできる。スポーツ立国戦略、スポーツ基本法も視野に入れて提案するとパワーが出る。（梶原）
- ・3 つの部会のキーワードが重複してきているので、3 部会の共通キーワードが必要になってきている。（澤内）

- ・外苑周辺の建物も改修の時期を迎え、関係する企業が色々考え始めている。東京ドームの社長が新国立競技場にジャイアンツを誘致する計画案を発表していた。(澤崎)
- ・スポーツラボという言葉は一般の人には通じにくいので(スポーツ入門プログラム)と付け加えた方がいい。発表に使用する PPT 資料は、スタジアムイベント研究会全体の共通クレジットを入れておくと、資料が世の中に出た時に有効だと思う。(師岡)
- ・新国立競技場をスポーツ MICE の殿堂にする、ということに基づいてこの提案が他のスタジアムにも広がるという流れで考えたい。オリンピックレガシーとして「スポーツ MICE」の概念を日本で育てることを 2015 年の研究大会で提言する。その聖地をまず新国立競技場に置き、MICE の発想で地方創生を促すことを提案したい。(清宮)
- ・資料をまとめる上で、「スポーツ MICE」という概念自体が新しい発見であると改めて感じた。スポーツ MICE の具体的なコンテンツをビジュアルで紹介し、オリンピックアジェンダ 2020 やスポーツ庁の施策に合致することが示されれば、「スタジアムの価値を最大化する」という考えを初めて提案される人には分かりやすいだろう。(守屋)
- ・2016 年に岐阜で行われる全国レクリエーション大会に、スタジアムイベント研究会の研究成果を持ち込んで PR してはどうか。参加メンバーの皆さんが所属している団体に「スポーツ MICE」をアピールしていくべきだ。(澤内)
- ・研究成果は、来年創刊されるイベント学会のジャーナルにも掲載したい。(福井)

■研究大会について(事務室)

- ・研究大会では萩座長と 3 部会長による 80 分のシンポジウム形式での発表を計画中。研究会としてニュースリリースも発行するので、その内容を広報委員会で詰めていただく予定。

[意見交換]

- ・今回はこの研究会から新しい価値を提唱するスタンスなので、リリースではゼネコンやトップアスリートを向こうに回すような表現は避けるべきだ。(清宮)
- ・メインテーマは運営の持続可能性であり、それ自体はどこからも反感を買うものではない。共感されるものを出すべきだ。(守屋)
- ・この提言が受け入れられないと成果につながらないので、周囲を見方に付けた方がいい。(師岡)
- ・このスタジアム構想を深化させるために、オリンピックの建設予定地巡りをしてはどうか。半年または 1 年ごとにバスをチャーターして、オリパラの建設予定地と都心の再開発地域を視察することを提案したい。萩座長に相談して了承いただければ正式な企画書を作成する。(澤内)
- ・11 月 16 日に出てくる新しい新国立競技場のプランに対して、応援をすることが大事だと考える。計画が白紙になったことで、逆に我々の提言が乗せやすくなったと理解している。(福井)

★次回第 7 回研究部会は仮設をテーマに実施予定。